

トライアスロン競技（「パラ選手 OWS 練習会・SEA 体験・育成事業」）実施要項  
（千葉県障害者スポーツ競技団体支援事業）

## 1 目的

パラトライアスロン大会への出場を目指す障がい者選手（パラ選手）の OWS（屋外スイム）練習支援、及び SEA（スイムイグジットアシスタント）の体験・育成事業

プール以外で泳ぐ機会が少ないパラ選手を対象として、海等の OW（屋外）でのスイム練習会を行い、OWS に特化した練習や OWS に馴れる機会を確保すること、また、救護経験者、ライフガード、サーフボード、ゴムボート、目標ブイ等を準備することでパラ選手が安心して練習できる環境を確保すること、さらに、肢体不自由な選手がスイムを終了する際にサポートを行う SEA の体験・育成を行うことで SEA の基本的知識の習得を目指すことで障がい者への理解を深めてパラ支援活動の輪を広げることを目的とする事業

## 2 主催 千葉県トライアスロン連合 （パラトライアスロン委員会）

## 3 実施期日・内容

（1）日時 令和 5 年 6 月から 1 1 月の土日祝日

開催時間 午前 7:00（集合）～11:30（解散） 4 時間半

（2）場所 千葉県千葉市いなげの浜、千葉県鋸南町保田海岸\*

※参加人数、参加者の属性、天候等の状況に応じて開催場所を決定する

（3）参加人数（予定）

パラ選手 5 名、SEA 体験者 5 名、スタッフ・介助者・救護関係者 10 名 計 20 名（予定）

（4）講師 千葉県トライアスロン連合 SEA 経験者複数名（予定）

（5）活動内容

1) 障がい者選手 OWS 練習会

- ・障がい者の OWS 練習として伴泳者（介助者）を伴い、海の特性、海での水泳における注意点、泳法などを指導し、距離を延ばしながら伴泳者と共に実践練習を行う。
- ・なお、海上には伴泳者向けに目標ブイを浮遊させ、ライフガードとゴムボートに乗船したスタッフに泳ぐコースを監視させる。陸上には、救護関係者を待機させる。
- ・健常者スタッフも障がい者選手と同じ練習メニューをこなすことで相互理解を深める。

2) SEA 体験・育成

- ・パラトライアスロン大会で SEA の実践経験がある者から SEA の基本を学ぶ。参加者同士で SEA 役と肢体不自由選手役とを交代して、水中から陸上に選手を上げる練習を繰り返すことで、安全で円滑に競技を進められる動きを研究し、実践する。

## 4 その他、実施上の留意事項など

- ・障がい者と健常者が一緒に練習を行うこと（障がい保険は各自で加入参加が前提）

- ・障がい者選手との交流を通じて、障がい者やパラスポーツへの理解を深めてもらい、パラ活動、ボランティア支援者の輪を広げる
- ・原則千葉県民が対象 ただし、他県障がい者選手、SEA 体験及び伴泳体験については体験参加を受け入れる
- ・新型コロナウイルス感染症対策（健康チェック、検温、マスク着用、手指消毒など）

(体験会の周知方法)

- ・ホームページ <https://chiba-triathlon.jp/>
- ・Facebook (例：<https://ja-jp.facebook.com/ChibaTriathlonUnion/>)
- ・その他 SNS、会報誌、電子メールにも掲載

(申し込み方法) 電子メール他、SNS 応募フォーム

(連絡先) 千葉県トライアスロン連合パラトライアスロン委員会宛て

(スポーツ傷害保険) 自己契約、自己責任対応でのイベント参加承諾

(個人情報取り扱い) 参加条項で同意の上対応

以上